Received 16/06/2003 20:47 in 04:24 on line [5] for JC01031 Printed 10/06/2003 23:08 * Pg 3/12 2003年10月7日 10時10分 UNIUS OFFICE NO. 4101 P. 3/1

特許出願の番号

特願2000-215332

起案日

平成15年 9月30日

特許庁審査官

富江 耕太郎

9532 3R00

特許出願人代理人

鈴木 崇生(外 4名) 様

適用条文

第29条第2項

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から60日以内に意見書を提出して下さい。

理 由

この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前日本国内又は外国において 頒布された下記の刊行物に記載された発明に基いて、その出願前にその発明の属 する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができた ものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができな い。

記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

- 請求項 1-5
- ・引用文献等 1
- ・備考

引用文献1には、電池により電位を重畳可能なアナターゼ型のTiO2が受光可能に設けられた電子歯ブラシが記載されており、前記電池の出力および種類は当業者が適宜決定すべきことである。

拒絶の理由が新たに発見された場合には拒絶の理由が通知される。

引用文献等一覧

1. 特開平6-90824号公報

先行技術文献調査結果の記録

・調査した分野 IPC第7版 A46B1/00-17/08、A46D1

この先行技術文献調査結果の記録は、拒絶理由を構成するものではない。

<補正等の示唆>

- (1) 明細書を補正した場合は、補正により記載を変更した個所に下線を引くこと(特許法施行規則様式第13備考6)。
- (2) 補正の際には、補正は、この出願の出願当初の明細書又は図面に記載した事項のほか、出願当初の明細書又は図面に記載した事項から当業者が直接的かつ一義的に導き出すことができる事項に限られる点に注意し、意見書で、各補正事項について補正が適法なものである理由を、根拠となる出願当初の明細書の記載箇所を明確に示したうえで主張されたい。

なお、上記の補正等の示唆は法律的効果を生じさせるものではなく、拒絶理由 を解消するための一案である。明細書及び図面をどのように補正するかは出願人 が決定すべきものである。

この拒絶理由通知の内容に関するお問い合わせ、または面接のご希望がござい ましたら下記までご連絡下さい。

特許審査第二部 サービス・安全 冨江 耕太郎 TEL. 03 (3581) 1101 内線 3384 FAX. 03 (3501) 0672